

PTA会員の皆様

藤井寺支援学校PTA

令和5年度第5回運営委員会だより

今回は、12月15日（金）の開催でした。

次回の運営委員会は1月17日（水）です。ご準備よろしくお願ひします。

1. 学校より

- ・12/7（木） 中2校外学習
- ・12/21（木） 給食終了
- ・12/22（金） 終業式
- ・1/9（火） 始業式
- ・1/25（木）～27（土） 作品展示会
- ・1/27（土） 授業参観 12:00下校
- ・1/29（月） 授業参観代休
- ・1/30（火） 創立記念日

2. PTAより

- ・運営委員会の後で部主事懇談会がありました。
- ・1/17（水）運営委員会終了後、バザー準備をします。
- ・1/18（木）子どもバザー、保護者バザーがあります。
- ・1/26（金）10時30分～ 第2バザー準備をします。
- ・1/27（土）第2バザーがあります。
- ・2/9（金）運営委員会終了後、全員で卒業生のコサージュ作り、キャンディーブーケ作りをします。皆様、ご協力お願ひします。

3. 対外の連絡

- ・全肢P ……特にありません。
- ・近肢P ……特にありません。
- ・府支P ……12/13（水）対府懇談会 難波支援学校で開催されました。
1/19（金） 冬季研修会 ホテルアウイーナであります。

4. 専門部より

【厚生部】 11/24（金）ベルマークの仕分けとテトラパックの箱詰めをしました。

【進路部】 12/5（火）進路座談会を開催しました。

【医ヶ部】 11/28（火）防災講座を開催しました。

防災講座、進路座談会を開催しました。

【防災講座】

11/28に防災講座を開催し、11名の参加がありました。

防災士の湯井先生からお話を聞きました。

個別避難計画書の作成を通して、いつ起こるか分からない災害に対する備えの足りなさを痛感しました。

まずは、近くに手助けをしてもらえる人を見つけることから始めたいと思います。



【進路座談会】

12/5に進路座談会を開催し、21名の参加がありました。

終了後のアンケートで、「保護者同士で情報交換が出来てよかった」「進路以外の日常生活の話も出来て、とてもためになった」「先生の話聞いて事業所に見学に行ってみようと思えた」などの感想を頂き、概ね好評でした。



【湯井先生より、防災講座のアンケートに回答をいただきました】

令和5年11月28日

令和5年11月28日 防災講座アンケートより

吹田市の個別避難計画書をもとに記入して相談支援員さんにも記入したものを一緒に考えていこうと思います。→早速のお取り組み、心から感謝です。計画相談の担当の方とご相談いただき、いつでも変更できるよう柔軟なものとしてお取り組みを進めていただけたら嬉しいです。まずは避難先の確保をお願いいたします。

今日は、先生のお話を聞く前と聞いた後で、自分の考え、備えのなさになさけなくなりました。災害はいつ起こるか分からないからこそ、今日の講座を受けたことを期にちゃんと考えて、計画書を作成したいと思いました。避難計画は“子どもたちの未来のため”に私たち障害をもつ親ができる第1歩。この手引きをもとに今現在分かっている情報、準備すべきことを書き出し、いつくるか分からない災害に、災害時にスムーズに対応できるよう考えたいと思います。→湯井の思いを受け取ってくださってありがとうございます。やればやるほど実力が付くのが防災です。藤井寺支援の取り組みも先生方の実力も保証します。あとは、保護者のやる気、特に卒業後を見越した自宅の環境づくりや個別避難計画について在学中にしっかりと取り組んでいただきたいと思います。

子どもは肢体不自由です。45 kgあります。マンション(4階)住まいです。災害があったときに、1階まで下ろす手段をどうすればいいのか悩んでいます。マンションには気軽に声をかけられる人もいません。

どのように準備をすすめればいいでしょうか。

今日はありがとうございました。できることから準備するように頑張ります。

→こちらこそ、ご参加をありがとうございました。停電時に助けていただく人が身近にいてもらわないと成り立たないということですね。だとすると、親の仕事はただ一つ、マンション内に支援者を作ることです。管理組合や管理会社といちど、ご相談されてはいかがでしょうか。個別避難計画を作りたいので、と所在市町村の個別避難計画の担当をしている福祉総務課(おそらく)にご相談をお願いいたします。湯井は来年の3月まで学位申請で時間が取れないのですが、4月になってからとなりますが、一緒に行きますか？

自宅待機している時、役場、地域、私はどのように行動すればよいか。

→自宅待機、というのは大規模災害時で停電などライフラインが止まった状態で在宅避難生活を送っている、という意味でしょうか。大規模災害が発生してから役場と連絡はなかなか取れないかと思います。それまでの間に、避難行動の部分でお子さんとお母さんは何に困るのか、誰にどんなことをお願いできそうか、など具体的に考えてみていただいて、自分だけでできないことは周りの人の力を借りるようしていきましょう。